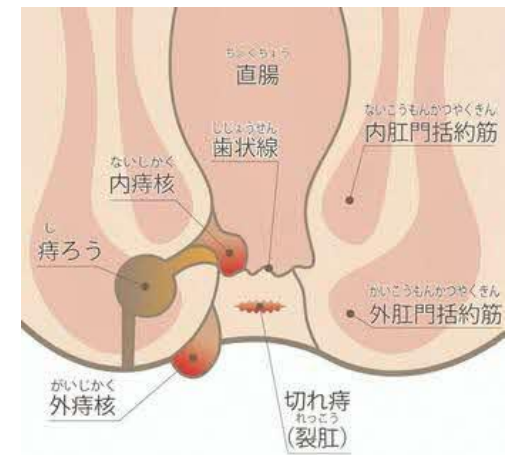


肛門疾患

- 肛門の起こりやすい病気は『いぼ痔』『切れ痔(裂肛)』『痔ろう(あな痔)』が代表的です。肛門の疾患は、珍しいものではなく日本人の3人に1人は痔で悩んでいるといわれています。
- この様な症状があれば受診してください。
- 排便の際、トイレットペーパーに血がつく、痛みがある。
- 普段、肛門に痛みがある。
- 下着を汚してしまう、においが気になることがある。
- 肛門科のクリニックに通うのには抵抗がある。
- 切開や痛みがある治療はできるだけ避けたい。
- 肛門から組織が出てくる。

大腸肛門病学会専門医・女性医師も対応しております。



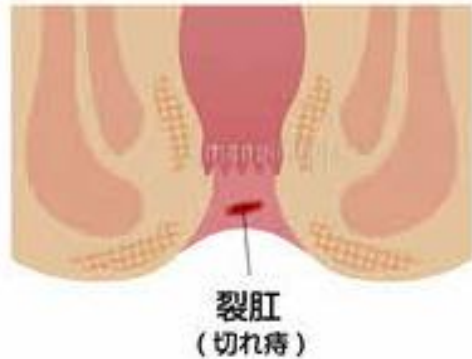
痔核



便秘や下痢などが原因で、肛門に負担が長時間かかることで、肛門の静脈叢に血が溜まって腫れる状態です。出血・脱出・違和感などの症状を認めます。腫れの状態です。薬・注射・切除の治療を行います。

- ・ 保存的治療
注入軟膏外用薬や漢方薬を使用。また生活指導をさせていただきます。
- ・ 注射療法
内痔核だけと判断する場合、程度によりますが**ジオン注(ALTA治療)**で対応します。
- ・ 手術療法
痔核への流入血管を根本でしばって痔核を紡錘状に切除する**高位結紮切除術**を行います。当院では粘膜を溶ける糸で縫合閉鎖する半閉鎖法を行っています。

裂肛



切れ痔のことで、排便（硬便・下痢）により肛門の皮膚が切れてしまい痛みと出血を認めます。また進行すると肛門狭窄をきたします。原因は、便の状態や、肛門括約筋の緊張などであり、排便のコントロールや投薬を行います。

- 保存的治療
注入軟膏外用薬や漢方薬を使用。また生活指導をさせていただきます。
- 手術療法
高度の肛門狭窄例では**皮膚弁移植術(Slideng skin graft 法)**を行います。

痔ろう



肛門周囲膿瘍※のあとに、うみが出る道（トンネル）が残ってしまった状態です。

ほとんどが手術治療が必要になります。長年の経過で痔瘻がんが発生することがあり、放置は危険です。複雑な痔瘻は信頼のできる連携病院に紹介させていただくことがあります。

※肛門周囲膿瘍：肛門陰窩から細菌が侵入することで、肛門腺が化膿し、炎症が拡大して膿が溜まります。痛みが強く、腫れや発熱を認めます。症状が強い場合は局所麻酔下に切開し排膿します。

・痔瘻の手術療法

肛門括約筋を切開して、膿の管（瘻管）を露出する切開開放術を行います。瘻管が長いと術後肛門の変形や機能障害が起こすことがあるので、瘻管にゴムを通して、ゴム輪を締める力を利用して瘻管を徐々に切開する**シートン法**を行う場合があります。